

コロナウイルス感染症が猖獗を極める中、多くの困難を乗り越えて今日の
日を迎えられた皆さんに、心からお祝
いの言葉を贈ります。

卒業生の皆さんは、3年次への進級
を目前とした一昨年3月に、リモート
での対応を余儀なくされました。本格

ただこのような逆境の中で、皆さんが
卒業要件をクリアしたという経験は、
きっと皆さんの人生においてプラスに
なってくれると信じています。

さて、皆さんが船出していく日本の
社会も、少子高齢化による人口オーナ
スやDXの出遅れなど、課題山積です。

学び続ける姿勢が 人生を豊かにする



学長
成田 健一

的な専門科目、そして卒業研究に取り
組む2年間は、本学の学生がまさに成
長する期間です。その大事な時間に対
面での指導が普段通りにできなかった
こと、そして何より集大成の卒研発表
のタイミングが過去最大の感染ピーク
に重なったことは、痛恨の極みです。

世界も急速に変化しており、2035
年にはインドネシアに、2050年頃
にはナイジェリアに、日本はGDPで
追い越されると予想されています。そ
んな厳しい環境の中で、皆さんは「人
生百年時代」といわれる社会を生き抜
いていかなければなりません。

先が見えない不確実性が高まる中、
確実に言えることは、「学び続ける姿
勢が皆さんの人生を豊かにする」とい
うことです。今の時代、課題解決はか
りが強調され、「こうすれば、苦勞無し
で、簡単に、お手軽に解決します」とい
う情報があふれています。しかし、本当
に肝要なのは、答えのない問題をじっ
くり考えて挑戦し続ける姿勢。それこ
そが社会を生き抜く武器です。解決不
能なものを尊び、安易な答えは求めな
い。そして、崇高なもの、魂に触れるも
のとの出会いも大切にしてください。

色々な意味で競争にさらされること
もあるでしょう。でも自信を持つてく
ださい。皆さんは他人のゴールには絶
対に辿り着けません。皆さんがテープ
を切れるのは皆さん自身のゴールだけ
です。せっかくの危機を無駄にしない。
それくらいの気概を持って、皆さん自
身の人生を勇往邁進してください。